

p.42

横浜の YACHT にて取材、齊藤実さん:「物悲しさを感じる時間なんかありませんでした」

p.43

月ドライバー

齊藤さんほど人生を海の上で過ごした人はいないでしょう。8 回目となる(写真に写っている)風に対しての単独の世界一周を 2011 年 9 月 17 日に、78 歳寸前でなしとげました。彼より年上の単独世界セーラーはいたことがありません。ノン・ストップの旅は 71 歳の時にしました。3 度 BOC / Velux 5 Oceans に参加した彼は合わせて 265,000 海里制覇していて、それは地球から月への距離です。この日本人は国際的に多くの賞で賞賛されました、多かったのはアジア人初としてです。

「私はなにも稼いでいません。払っているだけです。」

もう 8 回も一人で周りました、齊藤実さんは歴史上最も高年齢の単独世界セーラーです。79 歳の日本人は海上の孤独の魅力、高齢でのフィットネス、それと人並みを離れた人生について語ってくれました。

p.44

齊藤さん、気象学者の事をいったいどう思っていますか？

そんな質問がどこからきたんだい？

昨日テレビで天気エキスパート達は今日横浜は雨と言っていました、その時あなたはすぐに反論しました。今こうして太陽の下私達は座っています。あなたの予言が当たりました、プロ達ではなく。

まあ、この辺りここの特徴はもちろとても良く知っていて、長年海に出ているとある感覚が発達していったのですよ。そういう計算された物よりも経験の方が良い予言をする事はありますよ。だからと言って、それを理由にして気象学者を叱る理由にはなりませんよ。

観察はだいたい一人で海の上でしますが、あなたはきっと誰よりも長く一人で旅したでしょう。この数ヶ月に亘る孤独の魅力とはなんでしょう？

孤独を感じたことはありません。本当に、一度もありません！海は広くて自由で、僕自身も海の上では信じられないぐらい自由を感じますよ。その気持ちでいっぱいです。船を出すと、誰からも指示を受けずに、そんな命令なんかもっともありませんし。僕は全て自分で行動して、全てに責任があり、誰にもあーだこーだ言われることもありません。その上、ボートにチームがいたら味わえないある気持ちがあるのです:あの港に戻った瞬間「できたぞ！お前一人でできたぞ！」説明するのは難しいですよ。

本当に楽しいのですか、一緒に乗っている人がいなくて？

航行中は楽しい事はなにもありません。いつもけっこうハードですよ。

ではもう何回か「もう充分」と思った事でしょう。

そうですね、特にハードな時にはその事を言ったりしましたね。例えば 1999 年に参加した Around Alone...

...**シングルハンド世界レガッタ**...

...イザベル・オティシエの船がひっくり返ったのを覚えていますか？

もちろん。南太平洋で暴れる天候の中ライバルのジョバンニ・ソルディーニに保護されないといけませんでしたね。

私も同じ天候の中航行していて、地獄でしたよ。でも実は 4 年前の方がもっとひどかったのですよ、私の船はケープホーンでひっくり返りました。良くあることでしたが今回は極度でしたよ。レース前のひっくり返しテストでは 120 度から船は戻りました。今回は 180 度ひっくり返し、竜骨は縦に上に向いていたのです。そして船は沈まずに安定していました。イザベル・オティシエの 4 年後と同じように。

どうしてひっくり返ることになったのでしょうか？あなたのミスですか？

ミスとは言いません。夜中の 3 時頃だったかな、少し横にならないといけなかったのです。やはりいつかは休まないといけないので。急に寝台から放り投げられて床に落ちました一本当は天井です、床は天井になっていたのです。気味が悪かったですよ。暗闇の中ハシゴと他の物に挟まれて横たわっていて身動きがとれなかったです。どんどん水が入ってきていてもういっぱいになるところでした。もう水が口と鼻以上にきていたのもうこれで絶対死ぬと思いました。戦いました、何度も何度もなんとか水から顔を出して空気を吸いました。それが何分続いたかわかりません。しかし突然一気に船が正しい方向に立ち上がったのです。それに救われました。しかし船上はめちゃくちゃでした、電気製品ひとつ動きませんでした。そのためレース・コントロールと連絡が取れず、私は 23 日間行方不明となっていました。

その経験の後、海が少し怖くなりましたか？

クジラは少し怖いね。ある夜ぶつかった事があります、今日まで何にぶつかったのかわかりません。多分クジラだと思います。そういったことは悲劇で終わる事が簡単で、それを防ぐチャンスはまったくありません。

シングルハンド・セーリングを危険だと思いますか？

一人でもクルー付きでも大きな違いはありません。多くのリスクは人数が増えたからとなくなりませんからね。

p.45

どのリスクの事ですか？

海賊や泥棒との経験が何度かありましたよ。とても信じられないです、今時港や湾で盗まれるものは一あらゆる物ですよ！一度係船で親ねじ、ボルトとゴムマットレスがなくなりました。海賊や泥棒はなんでも盗むのですよ、もしかしらいつか使えるかもと思って。あと健康面でもリスクはいつも

あります。事故で指、腕、あばらと肩を折り、手術をしたひざのケガで6ヶ月間もハワイから出られませんでしたーそして最後に地震の話もあります。前回の世界一周の時チリで起きた事です。ハッチが落ちてきて右腕を折りました、同時にお腹あたりで折れたケガのため手術を受けないといけませんでした。しかし一番大変だったのは1988年のオーストラリアの周りで行なわれたレース中に心臓発作を起こした時でした。その時は諦めないといけませんでした、それは日本の規則のせいです。薬のまとめ買いは2週間分しか出してもらえません。しかし私の心臓にはもっと必要でした。

発作から25年経ちますがそれはヨットから引き離しませんでしたね。79歳で肉体的にどのように健康を保っているのですか？

発作以来「ドクターストップ」に掛かっています(笑)あらゆることを禁止され、その中にはジョギングも入っています。昔毎日していました、15キロまで、できるだけ早く。それに腕立て伏せ100回、腹筋100回、ダンベルとエキスパンダートレーニング。山登りが大好きでね、登山家はとてとてもたくさん力が必要です。しかしトレーニングを控えないといけなくなりました。現在はウォーキングをしていますが、それも一日6キロのみで、5キロのダンベルとエキスパンダーも3つのバネで筋トレしています。そこらへんはすこし減らしましたね、前は5つのバネでした。

それで船上は？

ダンベルとエキスパンダーなしでは船を出しません!

登山家からどうやってヨットへきたのですか？

14歳で真面目に山登りを始め、結構良いスキーヤーでもありました。しかし30代半ば、もう山登りをする力がないとわかりました。肉体的限界に達したのです。それなので自分に合う他のスポーツを探しました。縛られたスポーツは好きではありません。それなのでヨットにはすぐ魅了されました。そうして39歳で本格的に始めました。

p.46

それもチャレンジ精神いっぱいいですね。お手本などはいましたか？

たいしていませんね。しかしロビン・ノックス・ジョンソン卿の本には魅了されました。彼は彼自身の世界ですね！

ある意味彼と同じ段に立っていますね。あなたもCruising Club of Americaにブルーウォーターメダルをもらいましたね。長距離セーラーにとっては世界中で最も意義のある表彰ですね。そういった名声はプロセーラーのベースとしてヘルプになりますか？

いいえ、いいえ、私はプロではありません。私はなにも稼いでいません。払っているだけです。

しかし船に付けられたロゴはちゃんとしたスポンサーを指していますね。

最初の7回の世界一周旅は自腹でしたよ。

・・・ではあなたはきっと裕福な方なのですね。

あのですね、私の父は私も勤務した大きな石油の会社を東京でもっていたのです。目標は50歳になったら仕事をやめて好きなことをする事でした。そのためにがんばって働いてお金をためてい

きました。その上、不動産にも投資し、会社の株もあり、合わせて充分になりました。そうすると本当に 50 歳で退職してオーストラリアに引っ越しました。そっちの方がヨットに適しているのです。それからは自分の人生に投資しました、ヨットに。

それでも投資者を探して見つけました。

今回の 8 回目の世界一周のためには、はい。自分で数え切れないほどの投資者にあたっただめだった時に友達が委員会を立ち上げてスポンサーを見つけてくれたのです。それは日本では簡単な事ではありません。日本のスポンサーはグループや団体を支援します。100,000 ユーロを一つのチームに、それは無理です。100,000 ユーロを一人のセーラーにーNO です。

p.47

この 8 回目の世界一周以来あなたは最年長でそういったことのできた人となりました。どれほど大変でしたか？それと今では前よりもリカバリータイムが長く必要になりましたか？

いいえ。船上も陸も同じで、一度で 2 時間以上はどうせ寝ませんし、海の上では 1 日 3 回で夜は全く寝ません。色んな睡眠サイクルに合わせます。身体自身の睡眠サイクルが深く休めさせてくれるのなら起きていての方がいいです。しかし時には全く寝ない時もあります。もう 36 時間一度も寝なかったこともあります、条件によっては、例えば激しいセーリングの時や嵐の時などに。

激しい天候の中どのようなプランを使用しますか？

特にありません。ただ一つのルールがあります：オートパイロットは使用せずに、自分で。そういう時はただヨットがひっくり返らないようなコースを通るようにします。

静穏は嵐よりもひどいと言われています。あなたの経験上：それは正しいですか？

そうとは思いません。私は静穏を問題とは思いません。そういう時はリラックスして、寝てなかった分寝たり、必要であれば、船を片付けたり掃除したり、音楽を聴いたり、静けさを味わいます。私にはわかりません、そのなかがひどいのか。

嵐でも静穏でも、海の上に出ている時に陸を恋しく思ったことはありませんか？

一瞬もありません。物悲しさを感じる時間なんかありませんでした。私のほとんどの世界一周はレースモードでしたので。そんな時故郷の事を考えたりしません。考えることはただひとつ：もっと早く、もっと早く、もっと早く。しかしその恋しさは他の旅の時にもありませんでした。そういう時には友達と無線で話をしたり、E-mail もありますし。それで充分です。

それで長い期間海に出ていた後の陸はどんな感じですか？

特別な感情はありません。特にレースの場合、港に着いたら仕事が始まりますから、身を降ろす準備：何を修理しないとイケない、何を用意しないとイケない、次の為にしておかないとイケないことは何？

用意することについて：食料の供給はどうしていますか？

船上は大体パスタかポーリッジです。米は食べません、用意するのにエネルギーを使いすぎます：パスタとポーリッジは 5~6 分で出来上がります、米は 20 分かかります。それはガスか燃料を使いすぎます。それと牛肉は絶対です。

なぜ牛肉ですか？

密封パックすると思うより長持ちするからです。豚肉と鶏肉はもっと早く腐ります。それに牛肉は腐り始めていても食べられます。表面を切り落とし、肉を洗い、焼きます、そうすると問題ありません。ハムやソーセージも良いです、塩分が高いので。いつも前もって小分けして密封します。3 ヶ月後でもまだ大丈夫です。

ビタミンはどうですか？

たまねぎはいつもいっぱい持って行きます。それとドライ・フルーツ。前回の船旅の時には小さな農園も船上にあり、水を与えるだけの種があり、数日後には芽が出ていました。ちなみにもうしなくなった事は、タンクに飲料水を入れる事です。計算は簡単です：私は一日 4 リッターの水が必要で、それは 2 リッターのペットボトル 2 つ、30 日分で 60 本になります。問題なく積み込めます。

走行中のテクニカルな問題はありますか？修繕屋ですか？

自分で修理できる物は修理します。例えば帆。それ以外は全て次ぎの港まで待たないといけません。特に電気製品はあまり得意ではありません。それ以外は幅広い予備を船に置いておく事に重点を置いています。途中で特別な部品を手に入れようとする事は悪夢になることがあります。

長旅の場合、どの備品が絶対なくてははいけませんか？

良い電池と良いジェネレーター！電気がないとなにもできません、明かりもなし、機械もなし。それはあの時のひっくり返った時の問題でもありました。全ての機械は水によって壊れていませんでしたが、ジェネレーターが壊れていました。策具と帆のクオリティーは絶対です、当たり前です。それと良い服装。船上で寒くなり始めるだけでもいけません。そのため持って行きます、昔ながらのプラスチック製の湯たんぽとホッカイロ、化学製品の入った袋です、反応をおこして暖かさを生み出します。下着に入れておくと何時間も暖かいです。

p.48

この長い年月でどのような装置は残っていき、どのような物は全く不必要となりましたか？

海外の備品は日本の物より数段も良いです、もっと丈夫で使いやすいです。帆やロープなどはいつもヨーロッパ、オーストラリア、またはアメリカの物を使用します。日本の装置はクオリティーが良くなくとすぐに壊れてしまいます。それは一目瞭然です：他の国はその長いヨットの歴史があるためその分野では経験があります。船上、唯一の日本製品は私の腕時計です。

男性が長期間一人で船で出ていると特別な関係が発達します。船とどのような関係ですか？

色々ですね。3 艇目の「Shuten-dohji」はなにも特別な感情はありません。56 フィートあり、1989 年の物で、一度世界一周をして、今現在最後のヨットで、色んな物が壊れました。彼女には感情的な関係はありません。6 フィート短い「Shuten-dohji II」はまったく違います。彼女は 7 回も世界一周に連れて行ってきて、本当に特別ですよ。彼女は私の家であり、実はもう思ったことがあります：私の棺おけになると。私の年齢になるといつでも終わる可能性を頭に入れておかないといけません。

そしてそれまでは何を予定していますか？

北極へ行きたいです。しかしそのためには新しい船が必要です、氷に適しているのが。それなのでまずはエーゲ海に行くと思います、友達に会いに。世界中色んなところに行きましたがエーゲ海はまだ行ったことがありません。